

施策名：国内誘客の推進と海外誘客（インバウンド）の加速

事業名	担当課・室名	ページ
国内誘客総合対策事業	観光・地域局観光・地域振興課	1 / 3
インバウンド推進事業	観光・地域局観光・地域振興課	2 / 3
おんせん県おおいた県域版DMO推進事業	観光・地域局観光・地域振興課	3 / 3

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

(評価実施年度：平成30年度)

事業名	国内誘客総合対策事業		事業期間	平成28年度～平成30年度		政策区分	人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進
				施策区分	国内誘客の推進と海外誘客(インバウンド)の加速		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	観光・地域局観光・地域振興課		評価者	観光・地域振興課長 阿部 万寿夫

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	国内の人口が減少し全国的な誘客競争が激化する中、福岡圏域、関西圏域、首都圏域の三大都市圏において、各圏域における本県の認知度や旅行形態などを踏まえて、大分県観光に関するより積極的な情報発信などの取組強化が求められている。	事業の目的	国内からの観光誘客促進を図るため、九州・中国・四国、関西・中部、東日本の各エリアの特性を活かし、民間事業者と「おんせん県おおいた」が連携したプロモーションやキャンペーン、情報発信を展開する。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①圏域別誘客の推進 九州・中国・四国エリア、関西・中部エリア、東日本エリアそれぞれのマーケット特徴を踏まえ、鉄道、フェリー、バス、航空機の各事業者と連携した誘客・プロモーションを実施 委託先：(公社)ツーリズムおおいた ②情報発信 ロケツーリズムの推進、パンレットの作成・配布、ホームページやSNSによる情報発信等 ③団体誘客の推進 MICE誘致推進、教育旅行誘致推進	①	60,374	総コスト	135,909	117,376	110,714
	②	26,353	事業費	115,909	97,376	90,714
	③	11,582	(うち一般財源)	105,909	63,681	50,683
	④		人件費	20,000	20,000	20,000
	計	98,309	職員数(人)	2.00	2.00	2.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(30年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(30年度)	評価割合	評価
	①旅行会社・マスコミ等訪問件数(回)	目標値		100	100	100	100	61%	③教育旅行(農泊のみ)延べ宿泊者数(人泊)	目標値	18,788	20,328	21,021	21,021	
実績値			101	108			実績値			13,294	15,100				
達成率			101.0%	108.0%			達成率			70.8%	74.3%				
②SNS記事投稿数(件)		目標値		242	244	243	243	27%		目標値					a
		実績値		255	251					実績値					
		達成率		105.4%	102.9%					達成率					

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(30年度)	評価	事業の成果
県観光ホームページ(日本語版)訪問件数(万件)	目標値		130	130	130	130	a	九州北部豪雨の影響により、大分県への旅行意欲低下が懸念されたが、専決・補正予算による誘客対策の実施や、観光関係者等と連携した旅行会社等の訪問、誘客につながる情報発信を実施したことにより、目標値を達成することができた。
	実績値		156	134				
	達成率		120.0%	103.1%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 国内観光旅行マーケットの情報収集源の変化 少子高齢化による国内観光旅行マーケットの縮小 	今後の方向性	終了 <input type="radio"/> 継続・見直し <input checked="" type="radio"/> 例外的に継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/>
		今後の事業方針	<ul style="list-style-type: none"> ターゲットにあわせた情報発信 ビッグイベントに向けた情報発信の強化

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

(評価実施年度：平成30年度)

事業名	インバウンド推進事業		事業期間	平成27年度～平成 年度		政策区分	人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進		
						施策区分	国内誘客の推進と海外誘客（インバウンド）の加速		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課（室）名	観光・地域局観光・地域振興課		評価者	観光・地域振興課長 阿部 万寿夫		

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	今後、国内経済の縮小が見込まれる中で、経済成長の著しい東アジアや東南アジアに加え、ラグビーワールドカップ2019を見据えた欧米・大洋州を主なターゲットとして、国・地域の特性やニーズに応じた情報発信・セールスを行うとともに、多言語対応など外国人観光客の受入態勢の整備が求められている。	事業の目的	本県を訪れる外国人観光客を増加させるため、海外に対して観光PR等の誘客施策を行う。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①情報発信・誘客 旅行社・メディア招請、WEB等での情報発信、旅行会社への売り込み、商談会等への参加 ②ラグビーワールドカップ2019等に向けた欧米・大洋州対策の強化 試合開催国等に向けたプロモーションの実施 ③受入態勢整備 訪日教育旅行の受入態勢整備	①	51,796	総コスト	166,354	119,432	81,017
	②	43,693	事業費	126,354	89,432	51,017
	③	5,916	(うち一般財源)	76,941	52,389	26,972
	④		人件費	40,000	30,000	30,000
	計	101,405	職員数(人)	4.00	3.00	3.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	評価	
	①旅行会社セールス(回) (東アジア、東南アジア)	目標値	6	16	16				51%	③訪日教育旅行受入(回)	目標値		13	25		
	実績値	16	17				実績値				25					
	達成率	266.7%	106.3%				達成率				192.3%					
②旅行会社セールス(回) (欧米・大洋州)	目標値			6	6		43%	目標値								
	実績値			6				実績値								
	達成率			100.0%				達成率								

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
外国人観光客宿泊数(人泊)	目標値	560,000	880,000	960,000			a	東アジアや東南アジアへの継続した情報発信・誘客対策やラグビーワールドカップ2019を見据えた欧米・大洋州向けプロモーションなどを実施することで、29年度の外国人観光客宿泊数が対前年比59.3%増を達成することが出来た。
	実績値	827,010	1,317,330					
	達成率	147.7%	149.7%					

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 欧米・大洋州の観光客を呼び込むための大分県の知名度向上 韓国に偏っている外国人観光客割合の平準化 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 欧米・大洋州に対し、露出媒体の拡大、あらゆる機会での情報発信を継続 韓国に加え、多様なアジアの国からの誘客を促進 				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

(評価実施年度：平成30年度)

別紙2-4

事業名	おんせん県おおいた県域版DMO推進事業		事業期間	平成28年度～平成30年度		政策区分	人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進	
	総合評価	A		事業実施課(室)名	観光・地域局観光・地域振興課		施策区分	国内誘客の推進と海外誘客(インバウンド)の加速
		継続・見直し			評価者	観光・地域振興課長 阿部 万寿夫		

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	人口減少による国内観光需要の長期的低迷の懸念、訪日外国人旅行者数が急速に増加する中で、多様化する旅行ニーズに対応した観光メニューの開発や情報提供が求められている。今後、ラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリ・パラリンピックなど世界の関心が日本に寄せられる中、ますますの誘客を促進するためには、観光産業における情報発信や受入態勢整備などが課題。	事業の目的	誘客のための観光素材磨きや情報発信、受入環境整備など観光誘客推進体制の整備を図るため、県域版DMOとして、(公社)ツーリズムおおいたを充実・強化する。 ※「DMO」とは、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①商品企画・販売機能の強化 ツーリズムおおいたグッズ販売や域内の地域企画商品の提供を一元的に管理できるWEB販売システムを構築し、モデルコースを販売 ②マーケティング機能の充実 専門人材を配置し、訪日外国人観光客動態調査や観光マーケティング会議を実施 ③ツーリズム戦略推進会議 ツーリズム戦略に基づき、各種の取組を推進するとともに、進捗状況を管理	①	14,958	総コスト	31,934	65,323	88,284
	②	13,520	事業費	26,934	60,323	83,284
	③	604	(うち一般財源)		46,894	60,107
	④		人件費	5,000	5,000	5,000
	計	29,082	職員数(人)	0.50	0.50	0.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(30年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(30年度)	評価割合	評価
	①自主財源等収入(千円)	目標値		21,500	23,000	29,500		29,500	51%	③ツーリズム戦略推進会議開催(回)	目標値	3	3		
実績値			21,371	24,200			実績値	2			2				
達成率			99.4%	105.2%			達成率	66.7%			66.7%				
②組織内専門人材の確保 [プロパー職員+民間派遣職員](人)		目標値		3	3	3	3	46%	目標値						
		実績値		3	3				実績値						
		達成率		100.0%	100.0%				達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(30年度)	評価	事業の成果
県内宿泊者数(千人泊)	目標値		6,940	7,000	7,050	7,050	a	県域版DMOとして、ツーリズムおおいたの組織体制・マーケティング・自主財源確保の機能を充実したことにより、関係者と連携した受入態勢整備が図られ、県内宿泊者数の増につながった。
	実績値		6,852	7,003				
	達成率		98.7%	100.0%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> ツーリズムおおいた、地域観光協会や各観光事業者等による効果的効率的な観光施策の推進 各種データ等の継続的な収集や分析に基づいた戦略的な観光事業の企画や推進ができる専門人材の配置 市町村、地域観光協会、観光関連事業者など多様な関係者が連携のもと効果的なマーケティング・地域マネジメントを可能にする日本版DMOの理念に基づいた組織強化 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 国内・海外への情報発信・誘客さらには地域の魅力的なコンテンツ開発等にあたっては、蓄積が少なかつたデータの収集・分析による効果的な事業構築 観光客の満足度を向上させるためのサービスを担う域内事業者の育成・支援 市町村、域内DMO、観光協会、関係団体等との連携強化 				